

美味しい上越の農産物を…

上越市農林水産課長

野口和広（子安在住）

高田公園の木々も色づきはじめ、上越市はすっかり秋色に染まっています。Ｊネット会員の皆さま、はじめまして農林水産課の野口です。

今年の夏は、低温と日照不足で全くといっていいほど夏らしい日がありませんでした。テレビや新聞では、冷夏による北海道や東北地方での米の不作の報道がされ、美味しい上越の米の作柄が気がかりのことでしょうが、ご安心ください。上越の米は大丈夫です。収穫量は若干少なくはなりましたが、品質は昨年以上の出来になっています。

これは昨年から稲の登熟期が真夏の高温による障害を受けないようにするため、これまでの五月の連休中の田植を、一週間から十日ほど遅らせる取り組みを全農家が徹底しているからです。このような農家の方々の不断の努力の賜物であり、上越市農業の底力であります。

安全で安心な農業生産を基本にしている上越

のお米は市場から高い評価を受けており、順調に売れています。これからも、安全で安心な売れ米づくりを進めていきます。

さて、現在、周辺町村との合併に向けて準備をすすめているところですが、合併を予定している町村のそのほとんどが中山間地域です。ご存知のとおり中山間地域では、高齢化と過疎化が進み農業後継者不足が深刻化しており、地域農業の継続が危ぶまれています。

その中山間地域の活性化には、豊かな自然と地域の特性を有効に活用し、都市住民との交流を促すことが重要です。このことは、農業を基調とした体験型イベントや伝統行事・技能を活かした交流事業などを行い、中山間地域の魅力を積極的にPRして、多くの都市住民の方々から訪れていただけるように、地域ぐるみで取組まなければならないと考えています。

そこで、今年、Ｊネット会員の皆さまから参加

いただき、桑取谷の棚田を利用して五月の田植え、十月の稲刈り・はさがけを体験する「楽しい農業体験」を実施しました。

豊かな自然と美しい風景の中で汗を流された体験と、有機・減農薬で栽培し、はさ木による天日干しされたお米のお味はいかがでしたでしょうか？

来年度も、さらに内容を充実させ魅力ある体験型イベントをはじめとする交流・体験プログラムを用意して皆さまのお越しをお待ちします。

また、中山間地域の特産品開発として、北陸研究センター（旧北陸農試）が開発した、ルチンを多く含むその新品種「とよむすめ」の栽培実証にも取り組み、いづれ名物にしていきたいと考えています。

日本の農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、これからも上越市農業の振興に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

